

鳴門市第一小学校と鳴門市第一中学校で環境教育実習を実施しました。 <水質環境担当>

本県の水環境は全国的にみても高い環境基準の適合状況であります。が、中小河川等においては、未処理の生活排水や未規制事業場等の排水に起因しているとみられる水質汚濁が見受けられます。そこで水環境問題を身近なものとして意識づけることを目的に、県環境管理課が主体となって、小中学生を対象に「みんなで水質汚濁を考える教室」を開催しました。

表1 平成27年度の実習実績

学 校 名	実 習 実 施 日	実 習 参 加 人 数
鳴門市第一小学校	平成27年 9月30日	4年生(2クラス、計66名)
鳴門市第一中学校	平成27年11月17日	1年生(2クラス、計64名)

教室の内容は、まず生活排水が河川等の水質に及ぼす影響について下記担当が講義を行い、その後保健製薬環境センター水質環境担当の職員が実習を行いました。

【講義内容】

- 1、川の水をきれいにするための取り組み
(東部県土整備局鳴門庁舎)
- 2、水辺環境の保全と再生について(鳴門市環境政策課)
- 3、下水道の話(鳴門市下水道課)



【実習内容】

- 1、水の汚れについて
 - 2、COD パックテストの使用法説明
 - 3、水道水や川の水の水質検査実習
 - 4、様々な生活排水の水質検査実習
- ※ 内容については学校ごとに多少異なります。



実習は、簡易水質検査キット(パックテスト)を用いて、水質汚濁の指標であるCODの測定を行いました。CODは有機物による水の汚れを示す量で、数字が大きいほど汚れている状態を表します。検査用の水には水道水以外に、鳴門市近辺の新池川の水や旧吉野川の水を用いて身近な川の水の汚れ具合を知ってもらうとともに、普段の食事で使うソースやケチャップを数滴だけ混ぜた水を用いて、生活排水がどれだけ汚れているかを体験してもらいました。

実習の中では、パックテストの値を予想したり色の変化を楽しむ生徒や、生活排水のCODの値に驚く生徒など、普段行わない検査に興味津々な様子でした。今回の実習を通して、日常生活で水を汚さないようにするなど、身近なところから環境問題に関心を持っていただければと思います。

